

# 海軍公報 第二千四百十三號

昭和十年三月十三日(水)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房第一〇一三號

昭和八年官房第一九二三號中左ノ通改正ス

昭和十年三月十三日

海軍大臣

准士官以上褐青色夏衣ノ項中品質、制式ノ欄「麻織」ヲ「セルジ」ニ改ム

准士官以上褐青色シャツノ項中每一人貸與數ノ欄「二個」ヲ「三個」ニ、品質、制式ノ欄「羽二重金巾」ヲ「ポプリン」ニ改メ「濃紺色蝶結」ヲ削ル

下士官褐青色夏衣ノ項中品質、制式ノ欄「麻綿交織」ヲ「雲齋」ニ改ム

下士官褐青色夏袴ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

同 夏襦袢

三個

地質褐青色薄綾木綿、  
下士官夏襦袢ニ襟ヲ附  
シタルモノトス

兵褐青色夏袴ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

同 夏襦袢

三個

地質褐青色薄綾木綿、  
兵夏襦袢ニ同ジ

(参照)

昭和八年官房第一九二三號ハ陸軍隊裝ニ關スル件ナリ(會計法規中巻 一六五ノ三頁)

官房第一〇一四號

昭和九年官房第一七七六號中左ノ通改正ス

昭和十年三月十三日

海軍大臣

上海海軍特別陸戰隊員ノ項品名ノ欄「夏襦袢」ヲ削リ  
帽日覆ノ次ニ左ノ如ク加フ

夏襦袢 二箇月ヲ一箇月ニ計算ス

臨時海軍防備隊員ノ項中品名ノ欄「事業服」ノ次ニ  
「夏襦袢」ヲ加フ

(参照)

昭和九年官房第一七七六號ハ第三艦隊所屬艦船乗員、上海陸戰隊勤務員等ノ被服物品交換期限ノ件ナリ (會計法規中巻 一六五ノ六頁)

○雜款

○軍艦能登呂行動豫定變更(二月十九日)

地名	着	發
馬公	三月六日	三月六日
高公	三月八日	三月八日
馬公	三月二十日	三月二十日
高公	三月二十五日	三月二十四日
馬公	三月二十五日	三月二十四日
佐世保	三月三十一日	三月二十七日

○郵便物發送先變更(二月十九日)

軍艦能登呂宛	發送先
三月十九日迄	馬公
三月二十三日迄	高公
三月二十六日迄	馬公
其ノ後ハ	佐世保

○事務所設置

水雷艇友鶴修理事務所ヲ本月八日舞鶴要港部工作部内に設置セリ

○在外武官宿所

米國駐在 海軍少佐 黛 治夫

Lieut.-Commander H. Mayuzumi, I. J. N.,  
123 So. 39 Street,  
Philadelphia, Pa.,  
U. S. A.

退役海軍少佐正六位勳五等功五級大井光高本月十日死去、昨十二日富山市日本基督教會ニ於テ葬儀執行

1973

○艦船所在

▲印ハニハホノ  
指定ヲ要セズ

○三月十三日午前十時調

【横須賀】

目進、陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、  
那珂、春日、比叡  
矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三、伊六三、  
富士、尻矢、大和、膠州、洲崎  
(鈴谷)

【長浦】

潮、颯、曙、秋風、羽風、太刀風、帆風、  
天霧、朝霧、夕霧  
呂五四、呂五五、呂五六、呂五九、  
呂五七、呂五八  
掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】

嚴島、  
沼風、神風、野風、波風

【大湊】

大泊、野島  
長門、矢矧、韓崎、日向、加古、淀、  
大鯨、高雄、愛宕

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、  
菊、葵、初雪、白雪、狹霧、浦波、  
吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、  
呂五三、呂二八、呂二七、呂六三、

呂六四、呂六八、伊五二、伊五一、  
伊六八、伊二三、伊二一、伊五七、  
伊五六、伊五八  
掃七、掃八、掃九、掃一〇  
石廊、攝津、朝日、鶴見  
(最上)、(呂三三)

【神戸】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)  
平戸、大井

【江田内】

山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、五十鈴、  
名取、阿武隈、多摩、天龍

初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、  
皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、  
楡、柿、白雲、薄雲、叢雲  
伊三、伊一、伊二、伊五、伊四  
鳴戸、間宮

【舞鶴】

吾妻、川内、鬼怒  
若竹、吳竹、早苗  
呂二六  
友鶴

【佐世保】

(夕暮)  
加賀、那智、迅鯨、霧島、出雲、妙高、  
磐手

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、夕月、  
菊月、望月、三日月、陸月、如月、彌生、  
卯月

海軍公報 第二千四百十三號 昭和十年三月十三日

二三一

<p>【西戸崎】知床</p> <p>【福岡灣】▷常磐、八重山</p> <p>【長崎】羽黒▲、足柄 (三隈)</p> <p>【橘灣】▷北上</p> <p>▷呂六六、呂六五、呂六七</p> <p>▷初雁、千鳥、真鶴</p> <p>【有明灣】▷龍驤、鳳翔</p> <p>▷松風、朝風、春風、旗風</p> <p>【馬公】能登呂</p> <p>▷沙風、島風、夕風、灘風</p> <p>▷球磨、▷龍田</p> <p>▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷蓮、蓼、蓬、梅</p> <p>青島</p> <p>【嚴原】▷葦、菱、葦</p> <p>【旅順】萩▲、薄▲</p> <p>【青島】▷藤、葛</p> <p>【上海】▷安宅、宇治</p> <p>浦風</p>	<p>【南京】比良</p> <p>【九江】栗</p> <p>【漢口】對馬、二見</p> <p>【長沙】鳥羽</p> <p>【宜昌】勢多</p> <p>【重慶】熱海</p> <p>【廣東】蝶峨</p> <p>【マニラ】▷淺間、八雲</p> <p>【航海中】</p> <p>隱戸 (二日吳發—羅府へ)</p> <p>襟裳 (三日吳發—羅府へ)</p> <p>椿 (七日四日市發—館山へ)</p> <p>佐多 (九日羅府發—「ホノルル」へ)</p> <p>堅田 (十二日漢口發—宜昌へ)</p> <p>保津 (十二日九江發—漢口へ)</p> <p>▷鳥海、摩耶、▷青葉、衣笠、古鷹、▷神通、▷由良、長鯨、▷赤城、▷響、雷、電、▷漣、曉、▷綾波、敷波、▷東雲、磯波、▷沖風、峯風、▷伊五四、伊五五、▷伊六〇、伊五九、▷伊六四、伊六一、伊六二 (十日佐伯發—吳へ)</p> <p>神威 (十三日佐伯發—有明灣へ)</p> <p>▷白鷹、勝力、▷掃二三、掃二四、掃一五、掃一六 (十三日佐伯發—作業地へ)</p>
---	--

(部内限ナシ)

1975

# 海軍公報

第二千四百十四號

昭和十年三月十四日(木)  
海軍大臣官房

## ○雜款

○佛國通報艦タユール來航豫定

地名	佛國	着	三月三十日	發	四月四日
長崎	戸		四月六日		十六日

海軍公報 第二千四百十四號 昭和十年三月十四日

二三三

○艦船所在

▲印(ハカシ)  
指定ヲ要セズ

○三月十四日午前十時調

【横須賀】日進、陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、

▽那珂、春日、比叡

矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三、伊六三

富士、尻矢、大和、膠州、洲埼

(鈴谷)

【長浦】湖、隴、曙、秋風、羽風、太刀風、帆風、

天霧、朝霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五九

呂五七、呂五八

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】嚴島

【大湊】沼風、神風、野風、波風

大泊、野島

【吳】長門、矢矧、韓崎、日向、加古、淀、

大鯨、島海、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、

神通、由良、長鯨、高雄、愛宕

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、

菊、葵、初雪、白雪、狹霧、浦波、

吹雪、響、雷、電、漣、曉、綾波、

敷波、東雲、磯波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六三、

呂六四、呂六八、伊五二、伊五一、

伊六八、伊三三、伊二一、伊五七、

伊五六、伊五八、伊五四、伊五五、

伊六〇、伊五九、伊六四、伊六一、

伊六二

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、朝日、鶴見

(最上)、(呂三三)

【神戶】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】平戸

【大三島】大井

【佐伯】山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、五十鈴、

名取、阿武隈、多摩

初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、

皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、

楡、柿

伊三、伊一、伊二、伊五、伊四

鳴戸

【舞鶴】吾妻、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

(夕暮)



# 海軍公報

第二千四百十五號

昭和十年三月十五日(金)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第一〇三三號

來二十一日春季皇靈祭同神殿祭ニ付在京諸官ハ當日左ノ通心得ベシ

昭和十年三月十五日

海軍大臣

一、午前九時三十分賢所參集所ニ參集スベキ者

親任官、勅任官同待遇

二、正午ヨリ午後一時迄ニ參拜スベキ者

奏任官同待遇並ニ判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

三、午後一時ヨリ同二時迄ニ參拜スベキ者

位勳ヲ有セザル判任官同待遇

服裝 正裝、大禮服

## ○雜款

### ○司令潜水艦變更

第六潜水隊司令ハ本月十一日呂號第五十九潜水艦ヨリ呂號第五十七潜水艦ニ、第二十四潜水隊司令ハ同日呂號第六十三潜水艦ヨリ呂號第六十八潜水艦ニ司令潜水艦ヲ孰モ變更セリ

### ○取消

本月七日日本欄驅逐艦浦風行動豫定並ニ郵便物發送先ノ記事ハ誤ニ付取消ス



1979

○艦船所在

▲印ハ「ハ」  
指定ヲ要セス

○三月十五日前十時調

【横須賀】日進▲陸奥、夕張、金剛▲、木曾、駒橋、

矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三▲、伊六三▲

富士▲、尻矢、大和、膠州

(鈴谷)

【長浦】区潮、朧、曙、区秋風、羽風、太刀風、帆風、

区天霧、朝霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、区呂五七、

呂五八、呂五九

区掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】嚴島▲

【大湊】区沼風、神風、野風、波風

大泊、野島

【吳】長門、矢矧、韓崎、日向▲、加古、淀、

大鯨、区鳥海、摩耶、区青葉、衣笠、古鷹、

神通、区由良、長鯨、高雄、愛宕

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、区夕顔、

菊、葵、区初雪、白雪、狹霧、浦波▲、

吹雪▲、区響、雷、電、区漣、曉、区綾波、

敷波、区東雲、磯波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、区呂二八、呂二七、区呂六八、

呂六三、呂六四、区伊五二、伊五一、

伊六八、区伊三二、伊二一、区伊五七、

伊五六、伊五八、区伊五四、伊五五、

伊六〇、伊五九、区伊六四、伊六一、

伊六二

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、朝日、鶴見

(最上)、(呂三三)

【神戸】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】平戸

【佐伯】区多摩

伊三、伊一、伊二、区伊五、伊四

【舞鶴】吾妻▲、川内、鬼怒

区若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

(夕暮)

【佐世保】加賀▲、那智、迅鯨、霧島、出雲、妙高、磐手

梨、竹、樵、桃、柳、櫻、檜、区夕月、

菊月、望月、三日月、区睦月、如月、彌生、

卯月

呂三三、呂三四、呂三五、呂二九、

呂三〇、呂三一、呂三二、区呂六〇、

海軍公報 第二千四百十五號 昭和十年三月十五日

二三九

【西戸崎】 知床  
 【長崎】 羽黒、足柄  
 (三隈)  
 【橋灣】 北上  
 呂六六、呂六五、呂六七  
 初雁、千鳥、真鶴  
 【有明灣】 龍驤、鳳翔、神威  
 松風、朝風、春風、旗風  
 間宮  
 【馬公】 能登呂  
 沙風、島風、夕風、灘風  
 【高雄】 球磨、龍田  
 芙蓉、朝顔、刈萱、蓮、蓼、蓬、梅  
 【統營】 董、菱、葦  
 【旅順】 萩、薄  
 【青島】 藤、葛  
 【上海】 宇治  
 浦風  
 【南京】 比良  
 【九江】 栗  
 【漢口】 對馬、二見、保津

【長沙】 鳥羽  
 【宜昌】 勢多  
 【重慶】 熱海  
 【廣東】 嵯峨  
 【マニラ】 淺間、八雲  
 【航海中】  
 隱戸 (二日吳發—羅府)  
 襟裳 (三日吳發—羅府)  
 椿 (七日四日市發—館山)  
 佐多 (九日羅府發—館山)  
 堅田 (十二日漢口發—宜昌)  
 赤城 (十二日佐伯發—吳)  
 白鷹 (十三日佐伯發—作樂地)  
 青島 (十三日高雄發—佐世保)  
 安宅 (十四日上海發—漢口)  
 大井 (十四日大三島發—小豆島)  
 山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、五十鈴、名取、阿武隈、初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、阜月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、楡、柿、鳴戸 (十四日佐伯發—右明灣)  
 洲崎 (十四日橫須賀發—徳山)  
 天龍 (十五日佐伯發—吳)  
 常磐、八重山 (十五日福岡灣發—佐世保)  
 室戸 (十五日佐世保發—西戸崎)

(部内限三頁)

海軍公報 附録

昭和十年三月十五日(金)  
海軍大臣官房

○ 雜 款

○ 圖書

去ル一月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

和漢書ノ部

B三〇〇 兵 器

日本乃私談 原田實算著 昭和九 東京 春秋社 九九〇三

國民兵器大觀 附其の戦法 陸軍少將 長谷川正道著 昭和九 東京 費文館 九九九

C一四〇 法規例達

中華民國海軍禮節條例 軍令部編 昭和九 P三三三

C三〇〇 航 空

昭和九年航空要覽 逕信省航空局編 昭和九 P三〇二

昭和九年主要各國民間航空輸送事業概要 逕信省航空局編 昭和九 P三〇三

C六三〇 體 育

劍道神髓と指導法詳説 谷田太一著 昭和九 東京 秋文堂書店 九九一四

D〇〇〇 歴史—一般

世界歴史大系 平凡社編 昭和十 東京 平凡社 九三六

第十七卷 西洋中世史 高市慶雄著

D一一〇 日本史

日本歴史 (岩波講座) 國史研究會編 昭和十 東京 岩波書店 九三四

鎌倉時代に於ける新佛教の發展

近世武家時代の建築

室町時代の庶民生活

日本佛塔建築の變遷

大化改新

日本原始文化

江戸幕府政治 (一)

廢佛毀釋

上代の遺物遺跡と其の文化

宗教一揆

安土桃山時代の繪畫

吉利支丹宗門の興廢

南蠻文學

國史と民俗學

支那史書に現はれたる日本

日本書道の變遷

肥 録

朱子學の我國に及ぼせる影響

奈良朝以前に撰ばれたる史書

D 二二二 日本史―時代史  
 維新を語る 下中綱三郎著 昭和九 東京 平凡社 九六八  
 幕末維新の研究 雄山閣編輯局編 昭和九 東京 雄山閣 九七一〇

D 六四〇 傳 記  
 山鹿素行先生日記 素行會編 昭和九 東京 東洋圖書刊行會 九三四  
 世界的佐久間象山 陸軍中將 堀内信水著 昭和八 東京 不動書房 九三三

E 二二〇 外交史  
 日本外交秘録 朝日新聞社編 昭和九 東京 朝日新聞社 九八九五

軍縮 海軍會議への警鐘 報知新聞社政治部編 昭和九 東京 河川書房 P 三三三

W 三八一 各國問題―日米關係  
 滿洲問題と日米親善論 浮田和民著 昭和九 東京 北文館 九八九九

F 〇一〇 國家  
 國家の研究 (京城帝國大學法學會論集第七冊) 京城帝國大學法學部編 昭和九 東京 刀江書院 九九〇五

眞正國家論 オトマル・シュパン原著 昭和九 東京 章華社 九九三五

F 二二二 日本憲法  
 日本憲法の基本主義 美濃部達吉著 昭和九 東京 日本評論社 九九二三

F 一三〇 立法  
 第六十五回衆議院報告 衆議院事務局編 昭和九 P 三三三  
 帝國議會

F 一四〇 行政  
 公法學の諸問題 第一、二卷 (美濃部教授還暦記念) 富澤俊義編 昭和九 東京 有斐閣 一〇〇六

F 二七一 外國法令  
 滿洲國法令輯覽 滿洲國務院法制局編 康德二 新京 滿洲行政學會 一〇〇三

第一卷  
 基本法定室篇  
 官制篇  
 官規篇  
 服制、徽章、褒賞篇  
 文書、統計篇  
 寺廟、宗教篇

第二卷  
 地方制度篇  
 財務篇  
 實業篇

第三卷  
 學務篇  
 社會篇  
 土地、建築物篇  
 警察、衛生篇  
 軍務篇  
 法務篇  
 交通、通信篇  
 外事篇

英國法制研究 穂積重成著 昭和九 東京 三省堂	F三二〇 各國法制	九九〇三
G二〇〇 經濟 決算報告書ノ監査手續 渡邊寅二著 昭和八 東京 森山書店	G二〇〇 經濟	九九九七
事業會社經營效率の研究 東洋經濟新報社編 昭和七 東京 東洋經濟出版社		一〇〇〇〇
ケ1金融理論と管理通貨 吉田 寛著 昭和九 東京 森山書店		一〇〇〇五
昭和九年 本邦事業成績分析 白昭和九年三月 至同 八月 財團法人 三菱經濟研究所編 昭和九 東京 財團法人 三菱經濟研究所		P三二六
G二一〇 經濟原論 戰時經濟論 (新經濟學全集 第二十二卷) 森 武夫著 昭和九 東京 日本評論社	G二一〇 經濟原論	九九〇八
G二二二 爲 替 貿易爲替計算の常識 芳野國雄著 昭和九 東京 千倉書房	G二二二 爲 替	九九〇七
H二一一、一 農村問題 農村振興根本方策 白神正吉著 昭和九 東京 泰文館	H二一一、一 農村問題	九九三三
H二一五 鑛 産 昭和七年 本邦鑛業ノ趨勢 商工省鑛山局編 昭和九 東京 朝陽印刷株式會社	H二一五 鑛 産	P三二五
昭和八年 本邦鑛業ノ趨勢 商工省鑛山局編 昭和九 東京 朝陽印刷株式會社		P三二五
H一四二 通信 實用電報略號 中山久美著 昭和九 東京 誠文堂	H一四二 通信	一〇〇〇八
内外電報の知識 米倉正矩著 昭和十 東京 誠文堂		一〇〇〇九
昭和八年 郵便線路圖 逓信協會編 昭和八 東京 財團法人 逓信協會		A六九五
H二二〇 統計諸表 第二十 臺灣統計摘要 臺灣總督官房調査課編 昭和九	H二二〇 統計諸表	P三一九〇
昭和八年 關東應統計要覽 關東總編 昭和九		P三三三三
明治三十四年 卸賣物價統計表 商工大臣官房統計課編 大正十五		P三三〇六
昭和元年 卸賣物價統計表 商工大臣官房統計課編 昭和四		P三三〇六
至同三年 卸賣物價統計表 商工大臣官房統計課編 昭和四		P三三〇六
昭和四年 卸賣物價統計表 商工大臣官房統計課編 昭和六		P三三〇六
至同五年 卸賣物價統計表 商工大臣官房統計課編 昭和六		P三三〇六
H二二二 府縣市統計 第三十 回 大阪府統計書 昭和八年 大阪府役所編 昭和九	H二二二 府縣市統計	P三一九五
H二二三 年報・年鑑 昭和八年 自十一月 帝室博物館年報 帝室博物館編 昭和九	H二二三 年報・年鑑	P三二八七
第五十 回 大藏省年報 大藏大臣官房文書課編 昭和九		P三二八八
昭和八年 滿洲經濟統計年報 上編 貿易之部 大連商工會議所編 昭和九 大連 大連商工會議所		P三二九二

第二 南洋應統計年鑑 南洋總編 昭和九 P 三二五  
 千九百三十三年度 日本帝國委任統治地域行政年報 外務省編 昭和九 P 三二四  
 昭和八年度 造幣局長第六十年報書 造幣局編 昭和九 P 三三〇  
 昭和八年度 臺灣總督府交通局鐵道第三十五年報 臺灣總督府交通局鐵道部編 昭和九 P 三三〇  
 昭和八年度 鐵道省年報 鐵道省編 昭和九 P 三三〇  
 昭和七年度年報 東京鐵道局編 昭和九 P 三二七  
 昭和六年度 第五十七回海軍省年報 海軍大臣官房編 昭和九 P 三二九  
 昭和八年度 第四十一回貯金局統計年報 貯金局編 昭和十 P 三二九  
 I 一四〇 郷土史及風土記 別府灣を中心とする郷土研究 大分縣師範學校郷土室編 昭和九 大分 富隆書店 九二七  
 I 一七〇 日本地誌—事情 昭和九 南洋總編 昭和九 P 三二六  
 I 三六〇 亞細亞地誌—人情風俗 フイリツピン大觀 石黒大介著 昭和九 東京 新興出版社 九九三  
 J 三三三 土 木 見下 水道 鶴見一之著 昭和十 東京 九善株式會社 一〇〇四

J 三一四 建築 建築請負工事ノ經營 芝田知重著 昭和九 利戶(芝田知重) 一九九六  
 高等建築學 常磐書房編 昭和十 東京 常磐書房 一〇三二  
 第二十卷 學 校 古茂田甲午郎共著 拓植秀男共著 江崎伸市著 圖書館 江崎伸市著 二〇三二  
 K 一〇三 國 體 皇國精神講話 箕克彦著 昭和八 東京 春陽堂 九八六  
 K 三六〇 學 校 昭和九年 京都帝國大學一覽 京都帝國大學編 昭和九 P 二八六  
 自昭和九年 名古屋高等工業學校一覽 名古屋高等工業學校編 昭和十 P 三三三  
 L 二二〇 語學—英語 イエスベルセン原著 須貝清一譯 昭和九 眞鍋義雄共譯 東京 春陽堂 九八七  
 M 〇二〇 人 名 滿蒙日本人紳士錄 附、滿蒙銀行會社要覽 滿洲日報社臨時紳士錄編纂部編 大連 滿洲日報社 昭和四 P 三三三  
 (滿鐵) 社員錄 昭和九年九月一日現在 滿鐵總務部人事課編 昭和九 P 三三九  
 M 一一〇 圖書學・解題

<p>書誌學 小見山壽海著 昭和六 東京 三省堂 九七七</p> <p>研究參考文獻總覽 波多野賢一 編 昭和九 朝日書房 一〇三三</p> <p>M二一〇 圖書館 東京 朝日書房</p> <p>和漢圖書目錄法 太田爲三郎著 昭和七 東京 芸艸會 八九四七</p> <p>M二〇〇 叢書</p> <p>日本刀講座 雄山閣編 昭和十 東京 雄山閣</p> <p>第九卷 新刀鑑定鏡内(附圖四) 神津 伯著</p> <p>東海道(新刀の二) 神津 伯著</p> <p>歴史に表はれた刀劍(前篇)(歴史及 岩崎航介著</p> <p>刀匠の秘密厳守(銀鍊篇四) 山村綱廣著</p> <p>M三〇〇 全集</p> <p>會計學全集 東京 東洋出版社 昭和十 九七九</p> <p>第十五卷 運送業會計 伊藤正一著</p> <p>吉田松陰全集 山口縣教育會編 昭和九 九三三</p> <p>第二卷 東京 岩波書店</p> <p>第四卷</p> <p>第七卷</p> <p>M六一〇 辭書—國語</p> <p>大辭典 下中彌三郎編 昭和十 東京 平凡社 六一四</p> <p>第七卷 カワーキモン</p> <p>第八卷 キヤークト</p> <p>小辭林 金澤庄三郎編 昭和八 東京 三省堂 九七九</p>	<p>M六六〇 經濟</p> <p>經濟學辭典 大阪商科大學經濟研究所編 自昭和五至同七 東京 岩波書店 九六八九</p> <p>第一卷 アーカ</p> <p>第二卷 キーコ</p> <p>第三卷 サーセ</p> <p>第四卷 ハーン</p> <p>第五卷 ワービ</p> <p>總索引</p> <p>M六八〇 辭書—科學</p> <p>航空用語辭典 高松均編 昭和九 東京 修教社書院 一〇三六</p> <p>洋書ノ部</p> <p>1. ENGLISH BOOKS.</p> <p>(B300. Ordnance-General)</p> <p>Officers of the United States Navy-Naval Ordnance 1934. A Textbook Prepared for the Use of the Midshipmen of the United States Naval Academy. Annapolis, 1934. 8921</p> <p>(B470. Boiler)</p> <p>Boiler Code Committee-A. S. M. E. Boiler Construction Code (Rules for Construction of Power Boiler and Other Pressure Vessels and for their Care in Service) Sections I, II and VI. N. Y., 1933. 8929</p>
---	---

1986

- (C110. Naval Problems)  
Bywater, Hector C.-A Searchlight on the Navy. London, 1934. 8956 to 8965
- (H220. Year Books)  
Parke, Oscar-Jane's Fighting Ships 1934. London, 1934. P306
- (J211. Dynamics)  
Addison, Herbert-A Text Book of Applied Hydraulics. London, 1934. 8989  
King, Horace W. & Wisler Chester O.-Hydraulics. N. Y., 1933. 8988
- (J217. Optics)  
French, James Weir-Applied Optics: The Computation of Optical Systems, Vol. 1, 2. Being the "Handbuch der Angewandten Optik" of Dr. Adolph Seinhell and Dr. Ernest Viot. London, 1918. 8990
- (J312. Building)  
Cross, Hardy & Morgan, Newlin Dolbey-Continuous Frames of Reinforced Concrete. N. Y. 1932. 8987
- (J340. Aircraft, Automobile)  
Langley, H.-Metal Aircraft Construction: A Review for Aeronautical Engineers of the Modern International Practice in Metal Construction of Aircraft. London, 1934. 8932 & 8944
- (K202. Etiquette)  
Post, Emily-Etiquette "The Blue Book of Social Usage" N. Y., 1934. 8980
- (K220. Labour Problem)  
Tansbury, Geory-Mr England. London, 1934. 8995
2. DEUTSCHE BÜCHER.
- (X100. Die Militärische Wissellen, Die Marine, Die Aeronautik)  
Bredt, Alexander-Weyers Taschenbuch der Kriegsflootten XXIX. Jahrgang 1935. München, 1935. 2052
- (X200. Die Geschichte, Die Biographie)  
Asmann, Kurt-Die Kämpfe der Kaiserlichen Marine in den Deutschen Kolonien  
Erster Teil: Tsingtau  
Zweiter Teil: Deutsch-Ostafrika  
(Der Krieg zur See 1914-1918) Berlin, 1935. 2053
- (X800. Die Literatur, Die Sprache)  
Connor, James & Valette, T. G. G.-Deutsch-Niederländisches Konversationsbuch zum



<p>Gebruiche für Schulen und auf Reisen.          Deutsch-Niederländisch Conversatieboek Voor          School gebruik en op Reis. Heidelberg,          1908. 2051          Valette, T. G. G.-Niederländische Konversat-          ions-Grammatik. Heidelberg, 1923. 2050</p>	<p>3. VARIOUS NATIONS BOOKS.          (Z310. Dutch)          Broers, A. Engelsch Woordenboek. Tweede          Deel Nederlandsch-Engelsch. Groningen,          1933.</p>
---	---

# 海軍公報

第二千四百十六號

昭和十年三月十六日(土)

## 海軍大臣官房

### ○ 辭令

(各通)

海軍造船學生ヲ命ス(三月十六日海軍省)

杉 一夫  
岩下 正次郎

海軍機關中佐

杉 本 修

海軍航空本部航空事故調査委員會委員ヲ命ス(三月十六日海軍航空本部)

### ○ 雜款

○命名式舉行

左記ニヨリ報國號飛行機ノ命名式ヲ舉行セラル

記

一、飛行機番號名稱其ノ他

報國號番號	名 稱	機 種	製造資金獻納者
第七十三號	文明琦號	九〇式艦上戦闘機	朝鮮慶尙北道盈徳面 文明琦

二、日 時 (閉式時刻)  
四月七日午後二時 (晴雨不拘)

三、場 所  
朝鮮總督府京城飛行場 (京畿道高陽郡龍江面汝矣島)

(海 軍 省 副 官)

○艦船所在

▲印ハハハカ  
指定ヲ要セズ

○三月十六日午前十時調

【横須賀】日進、陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、

△那珂、春日、比叡

矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三、伊六三

富士、尻矢、大和、膠州

(鈴谷)

【長浦】潮、鷹、曙、秋風、羽風、太刀風、帆風、

天霧、朝霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】殿島

【館山】椿

【大湊】沼風、神風、野風、波風

【吳】長門、矢矧、緯崎、日向、加古、淀、

大鯨、天龍、白鷹、勝力、鳥海、

摩耶、高雄、愛宕、青葉、衣笠、古鷹、

神通、由良、長鯨、赤城

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、

菊、葵、初雪、白雪、白雲、薄雲、

叢雲、狹霧、浦波、吹雪、響、雷、電、

伊漣、曉、綾波、敷波、東雲、磯波、

沖風、峯風

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、

呂六三、呂六四、伊五二、伊五一、

伊六八、伊二二、伊二一、伊五七、

伊五六、伊五八、伊五四、伊五五、

伊六〇、伊五九、伊六四、伊六一、

伊六二

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日、鶴見

(最上)、(呂三三)

【神戶】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江川内】平戸

【舞鶴】吾妻、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

【佐世保】(夕暮)

加賀、那智、迅鯨、霧島、出雲、妙高、

常磐、八重山、磐手

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、夕月、

菊月、望月、三月月、陸月、如月、彌生、

卯月

呂三三、呂二四、呂二五、呂二九、  
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
 呂六一、呂六二  
 敷島▲早鞆  
 (伊七〇)  
 【西戸崎】知床、室戸  
 【長崎】羽黒▲足柄  
 (三隈)  
 【橘灣】北上  
 呂六六、呂六五、呂六七  
 初雁、千鳥、真鶴  
 【有明灣】山城、扶桑、椋名、伊勢、長良、五十鈴、  
 名取、阿武隈、多摩、龍驤、鳳翔、  
 神威  
 初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、  
 皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、  
 松風、朝風、春風、旗風、楡、柿  
 伊三、伊一、伊二、伊五、伊四  
 問宮、鳴戸  
 【馬公】能登呂  
 呂沙風、島風、夕風、灘風  
 【高雄】球磨、龍田  
 芙蓉、朝顔、刈萱、蓮、蓼、蓬  
 水、董、菱、華  
 【旅順】萩▲薄▲

【青島】藤、葛  
 【上海】宇治  
 浦風  
 【南京】比良  
 【九江】栗  
 【漢口】對馬、二見、保津  
 【長沙】鳥羽  
 【宜昌】勢多、堅田  
 【重慶】熱海  
 【廣東】嵯峨  
 【マニラ】淺間、八雲  
 【航海中】  
 隱戸 (二日吳發—羅府)  
 襟裳 (三日吳發—羅府)  
 佐多 (九日羅府發—ホノルル)  
 青島 (十三日高雄發—佐世保)  
 安宅 (十四日上海發—漢口)  
 洲崎 (十四日橫須賀發—徳山)  
 伊六五、伊六六、伊六七 (十五日佐世保發—馬公)

(部内限四頁)

# 海軍公報

第二千四百十七號

昭和十年三月十八日(月)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房第一〇五六號ノ二

昭和十年三月十八日

海軍省副官

各廳長殿

侍從武官被差遣ノ件通牒

今般狀況實視ノ爲侍從武官小林謙五ヲ第三艦隊、旅順要港部、駐滿海軍部へ被差遣候趣侍從武官長ヨリ通牒有之候

追テ同官ハ來四月七日東京發五月下旬歸京ノ豫定

## ○辭令

海軍少將 豊田 副武

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍生徒採用試験委員ヲ命ス

## ○雜款

海軍學生證衡委員ヲ命ス(以上以上海軍省)  
海軍少將 澤本 頼雄

○改名

海軍機關大尉酒井八重ハ鐵太郎ト改名ノ旨去月十八日届出デタリ

○訂正

去月二十六日辭令欄海軍軍醫中尉清田三一ノ辭令文中「三月二十日」ヲ「三月十八日」ニ訂正ス

海軍公報 第二千四百十七號 昭和十年三月十八日

二四五

1991

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○三月十八日午前十時調

【横須賀】

日進、陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、  
那珂、春日、比叡

矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三、伊六三

富士、尻矢、大和、膠州、野島

(鈴谷)

【長浦】 沼風、朧、曙、秋風、羽風、太刀風、帆風、

天霧、朝霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】

巖島

【大湊】

沼風、神風、野風、波風

【大館】

大泊

【吳】

長門、矢矧、緯崎、日向、加古、淀、

大鯨、白鷺、勝力、由良、長鯨、

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、

菊、葵、初雪、白雲、薄雲、叢雲、

浦波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五二、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、

呂六三、呂六四、伊五二、伊五一、

伊六八、伊二二、伊二一、伊五七、

伊五六、伊五八、伊五四、伊五五、

伊六〇、伊五九、伊六四、伊六一、

伊六二

掃七、掃八、掃一〇、掃一三、掃一四、

掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日、知床

(最上)、(呂三三)

【神戶】 (有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】 平戸

【舞鶴】 吾妻、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

室戸

(夕暮)

【佐世保】 加賀、那智、込鯨、霧島、出雲、妙高、

北上、常磐、八重山、磐手

梨、竹、樵、桃、柳、櫻、檜、夕月、

菊月、望月、三日月、陸月、如月、彌生、

卯月、沖風

呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

1992

呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、呂六七

【初雁】千鳥、真鶴、敷島、早柄、青島

【長崎】羽黒、足柄

(伊七〇)

【有明灣】山口、扶桑、椋名、伊勢、長良、五十鈴、名取、阿武隈、多摩、龍驤、鳳翔、神威

【初霜】初春、子日、若葉、長月、水無月、皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、松風、朝風、春風、旗風、楡、柿、伊三、伊一、伊二、伊五、伊四、間宮、鳴戸

【馬公】能登呂

【枋】沙風、島風、夕風、灘風、球磨、龍田、芙蓉、朝顔、刈萱、蓮、蓼、蓬、梅、荻、菱、葦、旅順、萩、薄

【青島】藤、葛

【上海】宇治

【南京】浦風、比良

【九江】栗、對馬、保津

【漢口】對馬、保津

【沙市】鳥羽、勢多

【宜昌】勢多

【重慶】堅田

【廣東】熱海、嵯峨

【航海中】隱戶 (二日吳發—羅府)、襟裳 (三日吳發—羅府)、佐多 (九日羅府發—ホノルル)、安宅 (十四日上海發—漢口)、淺間、八雲 (十四日馬尼刺發—盤谷)、伊六五、伊六六、伊六七 (十五日佐世保發—馬公)

二見 (十六日漢口發—宜昌)、赤城、峯風 (十七日吳發—佐世保)、白雪、掃九 (十七日吳發—大阪)、鶴見 (十七日吳發—油谷灣)、島海、摩耶、高雄、愛宕、青葉、衣笠、古鷹、神通、響、雷、電、漣、狹霧、曉、綾波、敷波、東雲、磯波 (十八日安下庄發—油谷灣)、天龍 (十八日吳發—大阪)、大井 (十八日赤穂發—多度津)、洲崎 (十八日德山發—吳)

(部内限一頁)

1993

# 海軍公報

第二千四百十八號

昭和十年三月十九日(火)

海軍大臣官房

## ○通牒

艦本第三三七〇號

昭和十年三月十九日

海軍艦政本部

關係各應御中

海軍諸材料物品試驗檢査規則増配ニ

關スル件照會

首題ノ件ニ關シ最近部内各事業部ノ擴張執務上ノ都合等ニ依リ新規増配方要求ノ向尠カラズ準備上ノ都合アルニ付此ノ際更メテ増配方要求スル向ハ其ノ所要部數調査ノ上左記様式ニ依リ三月末日迄ニ通知ヲ得度

記

件名	新規増配ヲ要スル部數	全所要部數
海軍造船機造兵主要材料基本制式		
同	試驗檢査規則	

同 用途別摘要表

## ○辭令

(各通)

海軍造兵學生ヲ命ス(海軍省)

川北 建三  
中村 通夫  
井上 威恭  
南 誠之

## ○雜款

○驅逐艦自雪行動豫定

地名 着 發  
吳 三月十七日  
大 阪 三月十八日

海軍公報 第二千四百十八號 昭和十年三月十九日

二四九



○驅逐艦初雪行動豫定

地名	着	發
吳		三月二十一日
相生港	三月二十二日	

○米國東洋艦隊來航豫定

オーガスタ

地名	着	發
横濱	五月三日	五月十七日
神戸	十八日	二十五日

驅逐艦ポール、ジョーンズ外十隻及母艦一隻

地名	着	發
神戸	五月四日	五月十七日

記事 旗艦「オーガスタ」ニハ同國亞細亞艦隊司令長官「エフ、ビー、アツバム」海軍大將座乗

○郵便物發送先

驅逐艦白雪宛

大阪鐵工所櫻島船渠

驅逐艦初雪宛

吳

三月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 播磨造船所 其ノ後ハ

○電話架設

軍令部第一部長 海軍少將 阿武清宅 (目黒區上目黒五ノ二四二五)

青山 二七〇七番

○書類發送先ニ關スル件通報

驅逐艦白雪當分ノ間大阪鐵工所ニ於テ修理豫定ニ付 當隊司令宛書類ニシテ白雪艦長ニモ配布ヲ要スルモノハ直接白雪艦長ニ送付方御取計相成度 (第十一驅逐隊)

退役海軍大佐正五位勳三等功四級平井德藏一昨十七日卒去、明二十日三重縣河藝郡一身田町大吉會 二三〇ニ於テ告別式執行

海軍技師從七位石川甚吉本月十六日死去、昨十八日横須賀市田浦一四六六自宅ニ於テ告別式執行セリ

1996

○艦船所在

指▲印ハ「ハ」水ヲ要セズ

○三月十九日午前十時調

【横須賀】 日進▲、陸奥、夕張、金剛▲、木曾、駒橋、

▷那珂、春日、比叡

矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三▲、伊六三▲

富士▲、尻矢、大和、膠州、野鳥

(鈴谷)

【長浦】 長潮、朧、曙、秋風、羽風、太刀風、帆風、

▷天霧、朝霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】 巖島▲

【箱山】 椿

【大湊】 沼風、神風、野風、波風

【釧路】 大泊

【吳】 長門、矢矧、緯崎、日向▲、加古、淀、

大鯨、白鷹、勝力、▷山良、長鯨

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、

菊、葵、▷初雪、▷白雲、薄雲、叢雲、

浦波▲、吹雪▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、

呂六三、呂六四、伊五二、伊五一、

伊六八、伊二二、伊二一、伊五七、

伊五六、伊五八、伊五四、伊五五、

伊六〇、伊五九、伊六四、伊六一、

伊六二

掃七、掃八、掃一〇、掃一三、掃一四、

掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日、知床、洲崎

(最上)、(呂三三)

【大阪】▷天龍

白雪

【神戸】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】 平戸

【多度津】 大井

【舞鶴】 吾妻▲、川内、鬼怒

▷若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

室戸

(夕暮)

【佐世保】 加賀▲、那智、迅鯨、霧島、出雲、妙高、

▷北上、▷常磐、八重山、磐手

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、▷夕月、

菊月、望月、三日月、▷睦月、如月、彌生、

<p>【有明灣】          〓山城、扶桑、〓榛名、伊勢、〓長良、五十鈴、          名取、〓阿武隈、〓多摩、〓龍驤、鳳翔、          神威</p> <p>〓初霜、初春、子日、若葉、〓長月、水無月、          皐月、文月、〓疾風、追風、朝風、夕風、          〓松風、朝風、春風、旗風、〓楡、柿</p> <p>〓伊三、伊一、伊二、〓伊五、伊四          間宮、鳴戸</p>	<p>【長崎】          〓羽黑、〓足柄          (三隈)</p> <p>〓初雁、千鳥、眞鶴          敷島、早瀬、青島          (伊七〇)</p>	<p>【馬公】          〓能登呂</p> <p>〓沙風、島風、夕風、灘風</p> <p>〓球磨、〓龍田</p> <p>〓芙蓉、朝顔、刈萱、〓蓮、蓼、蓬、梅</p> <p>〓荻、薄</p> <p>〓藤、葛</p>	<p>【上海】          宇治          浦風</p> <p>【南京】          比良</p> <p>【九江】          栗</p> <p>【漢口】          對馬、保津</p> <p>【長沙】          鳥羽</p> <p>【沙市】          勢多、二見</p> <p>【宜昌】          堅田</p> <p>【重慶】          熱海</p> <p>【廣東】          嵯峨</p>	<p>【航海中】          隱戸 (二日吳發—羅府)          襟裳 (三日吳發—羅府)          佐多 (九日羅府發—ホノルル)          安宅 (十四日上海發—漢口)          淺間、八雲 (十四日馬尼刺發—盤谷)          伊六五、伊六六、伊六七 (十五日佐世保發—馬公)</p> <p>〓赤城、峯風 (十七日吳發—佐世保)          掃九 (十七日吳發—大阪)          鶴見 (十七日吳發—油谷灣)</p> <p>〓鳥海、摩耶、高雄、愛宕、〓青葉、衣笠、古鷹、          〓神通、〓響、雷、電、〓漣、狹霧、曉、〓綾波、敷波、          〓東雲、磯波 (十八日安下庄發—油谷灣)</p>
---	--	--	--	---

(部内限三頁)

1998

# 海軍公報

第二千四百十九號

海軍大臣官房

昭和十年三月二十日(水)

## ○ 辭令

海軍整備特務中尉 加藤木猛次郎  
第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局)

海軍公報 第二千四百十九號 昭和十年三月二十日

二五三

○艦船所在

▲印ハ、ハ、ホ、ニ、ノ  
指定ヲ要セズ

○三月二十日午前十時調

【横須賀】

日進、陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、  
那珂、春日、比叡

矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三、伊六三

富士、尻矢、大和、膠州、野島

(鈴谷)

【長浦】

潮、颯、曙、秋風、羽風、太刀風、帆風、  
天霧、夕霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、  
呂五八、呂五九

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】

巖島

【館山】

椿

【三津】

朝霧

【大湊】

沼風、神風、野風、波風

長門、矢矧、緯崎、日向、加古、淀、  
大鯨、白鷺、勝力、天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、  
菊、葵、初雪、白雲、薄雲、叢雲、  
浦波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一

【大阪】

白雪

【神戸】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

平戸

【廣島灣】

大井

【舞鶴】

知床、吾妻、川内

【油谷灣】

若竹、吳竹、早苗

【夕暮】

室戸

友鶴

友鶴

呂二六

呂二六

呂二六

呂二六

呂二六

呂二六

呂二六

呂二六

呂二六

呂二六

呂二六

呂二六

海軍公報 第二千四百十九號

昭和十年三月二十日

二五五

【小濱】 鶴見  
鬼怒

【佐世保】

加賀▲、那智、迅鯨、霧島、出雲、妙高、  
北上、▷常磐、八重山、▷赤城

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、▷夕月、  
菊月、望月、三月月、▷陸月、如月、彌生、  
卯月、▷沖風、峯風

呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、  
呂三〇、呂三一、呂三二、▷呂六〇、  
呂六一、呂六二、▷伊六五、伊六六、  
伊六七

▷初雁、千鳥、真鶴  
敷島▲、早瀬

(伊七〇)

【西戸崎】 青島

【長崎】 羽黒▲、足柄

(三隈)

【有明灣】▷山城、扶桑、▷榛名、伊勢、▷長良、五十鈴、  
名取、▷阿武隈、▷多摩、▷龍驤、鳳翔、  
神威

▷初霜、初春、子日、若葉、▷長月、水無月、  
皐月、文月、▷疾風、追風、朝風、夕風、  
▷松風、朝風、春風、旗風、▷檜、柿

▷伊三、伊一、伊二、▷伊五、伊四

間宮、鴨戸

【馬公】▷汐風、島風、夕風、灘風

▷呂六六、呂六五、呂六七

【枋】▷球磨、▷龍田  
▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷蓮、蓼、蓬、梅

【木浦】▷荻、菱、葦

【旅順】萩▲、薄▲

【青島】▷藤、葦

【上海】宇治

浦風

【南京】比良

【九江】栗

▷安宅、對馬、保津

【漢口】鳥羽

【沙市】勢多、二見

【宜昌】堅田

【重慶】熱海

【廣東】嵯峨

【作業地】大泊

【航海中】

隱戸 (二日吳發—羅府( ))

襟裳 (三日吳發—羅府( ))

佐多 (九日羅府發—ホノルル( ))

▷淺間、八雲 (十四日馬尼刺發—盤谷( ))

磐手 (十九日寺島水道發—佐世保( ))

能登呂 (二十日馬公發—高雄( ))

(部内限二頁)

# 海軍公報

第二千四百二十號

昭和十年三月二十二日(木)

海軍大臣官房

## ○辭令

故海軍大尉淺水鐵男寡婦

金四千圓 但死亡者一時賜金 淺水 綾

金壹萬圓 但死者保護賜金 故海軍航空兵曹長鈴木慶治寡婦

金壹千八百圓 但死亡者一時賜金 鈴木 咲子

金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 故海軍二等航空兵曹鈴木幸太郎父

金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 鈴木 喜三郎

金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 故海軍三等航空兵曹水戸榮父

金壹千四百圓 但死亡者一時賜金 水戸 紋平

右大正二年勅令第九號及大正八年勅令第三百七十一號ニ依リ之ヲ給與ス(三十四海軍省)

(通各)

## ○雜款

○旗艦指定

吳防備戰隊司令官ハ左記ノ通旗艦ヲ指定ス

記

自三月二十三日  
至同二十四日 自應  
自三月二十五日 勝力  
至同二十九日

○滯在地變更

休職海軍機關大尉大島安之助ハ佐世保ヨリ吳へ滯在地變更ノ儀一昨二十日認許セラレタリ

○事務所撤去

驅逐艦夕暮艦裝具事務所ハ一昨二十日撤去セリ

○書類送付先ニ關スル件通報

驅逐艦浦波當分ノ間吳在泊ノ豫定ニ付當隊司令宛書類ニシテ浦波驅逐艦長ニモ配付ヲ要スルモノハ直接浦波驅逐艦長宛ニ送付方御取計ヲ得度  
(第十九驅逐隊)

○艦船所在

▲印ハ、ハホレフ  
指定ヲ要セズ

○三月二十二日午前十時調

【横須賀】 日進、陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、

▷那珂、春日、比叡

矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三、伊六三

富士、尻矢、大和、膠州

(鈴谷)

【長浦】 区潮、臘、曙、区秋風、羽風、太刀風、帆風、

区天霧、夕霧、朝霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、呂五九

区掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】 巖島▲

【館山】 椿

【大湊】 区沼風、神風、野風、波風

【吳】 長門、矢矧、緯崎、日向、加古、淀、

大鯨、自鷹、勝力

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、区夕顔、

菊、葵、区白雲、薄雲、叢雲、浦波、吹雪▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、

呂六三、呂六四、区伊五二、伊五一、

伊六八、区伊二三、伊二二、区伊五七、

伊五六、伊五八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、区掃一三、

掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、朝日、青島

(最上)、(呂三三)

【大阪】 白雪

【神戸】 (有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七二)

【江田内】 平戸

【舞鶴】 吾妻、川内、鬼怒

区若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

(夕暮)

【油谷灣】 区鳥海、摩耶、高雄、愛宕、区青葉、衣笠、

古鷹、区神通、区山良、長鯨

区響、雷、電、区漣、狭霧、曉、区綾波、敷波、

区東雲、磯波

区伊五四、伊五五、区伊六〇、伊五九、

区伊六四、伊六一、伊六二

鶴見

【佐世保】 加賀、迅鯨、霧島、出雲、妙高、区北上、

▷常磐、八重山、磐手

梨、竹、樞、桃、柳、檜、檜、区夕月、

菊月、望月、三日月、区睦月、如月、彌生、



卯月、  
 呂二三、  
 呂二四、  
 呂二五、  
 呂二九、  
 呂三〇、  
 呂三一、  
 呂三二、  
 呂六〇、  
 呂六一、  
 呂六二、  
 伊六五、  
 伊六六、  
 伊六七  
 伊初雁、千鳥、真鶴  
 敷島、早瀬  
 (伊七〇)  
 赤城  
 寺島水道  
 峯風  
 羽黒、足柄  
 (三隈)  
 有明灣、山口、扶桑、  
 伊勢、  
 長良、  
 五十鈴、  
 名取、  
 阿武隈、  
 多摩、  
 龍驤、  
 風翔、  
 神威  
 初霜、  
 初春、  
 子日、  
 若葉、  
 長月、  
 水無月、  
 皐月、  
 文月、  
 疾風、  
 追風、  
 朝風、  
 夕風、  
 松風、  
 朝風、  
 春風、  
 旗風、  
 楡、  
 柿  
 伊三、  
 伊一、  
 伊二、  
 伊五、  
 伊四  
 間宮、  
 鳴戸  
 馬公、  
 沙風、  
 島風、  
 夕風、  
 灘風  
 能登呂  
 高雄、  
 球磨、  
 龍田  
 萩、  
 芙蓉、  
 朝顔、  
 刈萱、  
 蓮、  
 蓬、  
 梅  
 呂六六、  
 呂六五、  
 呂六七

鎮海、  
 董、  
 菱、  
 葦  
 青島、  
 藤、  
 葛  
 上海、  
 宇治  
 浦風  
 比良  
 南京、  
 粟  
 九江、  
 栗  
 漢口、  
 安宅、  
 對馬、  
 保津  
 長沙、  
 鳥羽  
 沙市、  
 勢多  
 宜昌、  
 堅田、  
 二見  
 重慶、  
 熱海  
 香港、  
 嵯峨  
 盤谷、  
 淺間、  
 八雲  
 佐多  
 作樂地、  
 大泊  
 航海中  
 隱戸、  
 (二日吳發—羅府)  
 襟裳、  
 (三日吳發—羅府)  
 那智、  
 (二十日佐世保發—甌島)  
 室戸、  
 (二十日舞鶴發—吳)  
 野島、  
 (二十日横須賀發—神戶)  
 天龍、  
 (初雪、  
 (三十一日吳發—相生)  
 萩、  
 (三十一日旅順發—青島)  
 知床、  
 (三十一日廣發—横須賀)  
 大井、  
 (二十二日廣島發—江田内ヲ經テ吳)  
 洲崎、  
 (二十二日吳發—徳山)

(部内限三頁)

# 海軍公報

第二千四百二十一號

昭和十年三月二十三日(主)

海軍大臣官房

## ○辭令

水戸地方裁判所所屬辯護士 伊藤 鹿治郎  
海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(海軍大臣)

海軍整備特務中尉 加藤木 猛次郎  
技術部附ヲ命ス(海軍航空本部)

## ○雜款

○軍艦那智行動豫定

地名 着 發  
佐世保 三月二十九日  
横須賀 三月三十一日

○驅逐艦有明行動豫定

地名 着 發  
神戶 三月二十五日  
横須賀 三月二十六日

## ○郵便物發送先

軍艦那智宛  
三月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保  
其ノ後ハ 横須賀

## 驅逐艦有明宛

三月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 神戶  
四月一日迄ニ同 横須賀  
其ノ後ハ 第九驅逐隊ニ同ジ

退役海軍少將從四位勳三等功四級牛田從三郎昨二十  
十二日卒去、明二十四日午後一時ヨリ同二時迄澁  
谷區穩田一ノ九八日井靈氣療法學會本部ニ於テ神  
式ニ依リ告別式執行

海軍公報 第二千四百二十一號 昭和十年三月二十三日

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ヲ指定ヲ要セズ

○三月二十三日午前十時調

【横須賀】日進▲陸奥、夕張、金剛▲木曾、駒橋、

▽那珂、春日、比叡

矢風、澤風

▽伊二三、伊二四、伊五三▲、伊六三▲

富士▲、尻矢、大和、膠州

(鈴谷)

【長浦】▽潮、朧、曙、▽秋風、羽風、太刀風、帆風、

▽天霧、夕霧、朝霧

▽呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五七、

▽呂五八、呂五九

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】嚴島▲

【館山】椿

【大湊】▽沼風、神風、野風、波風

【吳】長門、矢矧、緯崎、日向▲、加古、淀、

大鯨、勝力、大井

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽夕顔、

菊、葵、▽白雲、薄雲、叢雲、浦波▲、吹雪▲

▽呂一七、▽呂一八、▽呂一九、▽呂五一、

▽呂五三、▽呂二八、▽呂二七、▽呂六八、

▽呂六三、▽呂六四、▽伊五二、伊五一、

▽伊二三、伊二二、▽伊五七、伊五六、

伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一○

石廊、攝津、朝日、室戸、青島

(最上)、(呂三三)

【大阪】

【神戸】白雪

【大坂】野島

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【相生】▽初雪

【江田内】平戸

【舞鶴】吾妻▲、川内、鬼怒

▽若竹、吳竹、早苗

友鶴

呂二六

(夕暮)

【油谷灣】▽島海、摩耶、高雄、愛宕、▽青葉、衣笠、

古鷹、▽神通、▽山良、長鯨

▽響、雷、電、▽漣、狹霧、曉、▽綾波、敷波、

▽東雲、磯波

▽伊五四、伊五五、▽伊六〇、伊五九、

▽伊六四、伊六一、伊六二

鶴見

【佐世保】加賀▲、迅鯨、霧島、出雲、妙高、▽北上、

八重山、磐手

梨、竹、樞、桃、柳、檜、楡、▽夕月、菊月、

海軍公報第二千四百二十一號 昭和十年三月二十三日

二六三

望月、三日月、 呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、 呂六一、呂六二、 伊六六、伊六六、 伊六七	伊初雁、千鳥、真鶴 敷島、早鞆 (伊七〇)	【寺島水道】 赤城 沖風、峯風	【長崎】 羽黒、足柄 (三隈)	【橘灣】 常磐 山城、扶桑、 名取、阿武隈、 多摩、龍驤、 鳳翔、 神威	初霜、初春、 子日、若葉、 長月、水無月、 皐月、文月、 疾風、追風、 朝風、夕風、 松風、朝風、 春風、旗風、 楡、柿 伊三、伊一、 伊二、伊五、 伊四 間宮、鴨戸	馬公、沙風、 島風、夕風、 灘風	高雄、能登呂	枋、球磨、 龍田 芙蓉、朝顔、 刈萱、蓮、 蓮、蓬
鎮海、呂六六、 呂六五、呂六七 青島、呂董、 菱、葦、薄 上海、宇治 浦風、比良	南京、比良 九江、栗 漢口、安宅、 對馬、保津 長沙、鳥羽 沙市、勢多 宜昌、堅田、 二見 重慶、熱海 香港、嵯峨 盤谷、淺間、 八雲 ホッル、佐多 作業地、大泊	航海中 隱戸、(二日吳發、 羅府) 襟裳、(三日吳發、 羅府) 那智、(二十日佐世保發、 龍島) 知床、(二十一日廣發、 橫須賀) 天龍、(二十二相生發、 吳) 湖崎、(二十二日吳發、 德山) 白鷹、(二日吳發、 豐後水道) 梅、(二十三日枋發、 馬公)						

(部内限一頁)

# 海軍公報

第二千四百二十二號

海軍大臣官房

昭和十年三月二十五日(月)

## ○辭令

○昭和十年三月二十二日

(各通)

海軍技手 鈴木 雪樓  
同 落合 猛省

給三級俸  
給五級俸

同 森永 英雄

(各通)

同 鈴木 雪樓  
同 落合 猛省  
同 森永 英雄

依願免本官(海軍省)

若林 爲雄

海軍機關學校ニ於ケル化學教授囑託ヲ解ク(海軍省)

(各通)

水路部附海軍技手 名古屋 金吾  
同 田中 作次  
同 齋藤 平八

兼駐滿海軍部附ヲ命ス

(通各)

臺灣總督府技師 高橋 春吉  
同 商工技師 植村 葵巳男  
臺灣總督府技師 鳥居 敬造  
同 百五拾圓 商工技手 久松 將四郎

臺灣豫備油田調査事務囑託ノ報酬トシテ金(各頭書ノ通)ヲ贈與ス(以上三月二十五日同)

## ○雜款

○葡國軍艦ゴンサルツエス、ザルコ來航豫定

地名 着 發 記 事  
長崎 四月三日 未定 田港期日ハ追テ通知ス

退役海軍中佐從五位勳四等中川庄作本月二十二日卒去、昨二十四日名古屋市中區廣路町前畑三五ニ於テ葬儀執行

海軍公報 第二千四百二十二號 昭和十年三月二十五日

二六五

2007

○艦船所在

指▲印△ハホホフ  
定ヲ要セズ

○三月二十五日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛▲木曾、駒橋、  
那珂、春日、比叡

矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三▲伊六三▲

伊五七

富士▲尻矢、大和、膠州、知床

(鈴谷)

【長浦】口湖、朧、曙、口秋風、羽風、太刀風、帆風、

口天霧、夕霧、朝霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

呂五九

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】

嚴島▲

【館山】

椿

【函館】口沼風、神風、野風、波風

長門、矢矧、緯崎、日向▲加古、淀、

大鯨、大井、口天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、口夕顔、

菊、葵、口白雲、薄雲、叢雲、浦波▲吹雪▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、

呂六三、呂六四、伊五三、伊五一、  
伊二二、伊二一、伊五七、伊五六、  
伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、朝日、室戸

(最上)(呂三三)

【大阪】

白雪

【神戸】

有明

【相生】

初雪

【江田内】

平戸

【伊豫灘】

白鷺

【舞鶴】

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

吾妻▲川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

(夕暮)

【油谷灣】

口鳥海、摩耶、高雄、愛宕、青葉、衣笠、  
古鷹、神通、由良、長鯨、赤城

響、雷、電、漣、狹霧、曉、綾波、敷波、

東雲、磯波、沖風

伊五四、伊五五、伊六〇、伊五九、  
伊六四、伊六一、伊六二

鶴見

2008

【佐世保】

加賀、迅鯨、霧島、出雲、妙高、北上、八重山、磐手、梨、竹、榊、桃、柳、檜、檜、夕月、菊月、望月、三日月、陸月、如月、彌生、卯月、峯風

呂二九、呂二四、呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、伊六五、伊六六、伊六七

敷島、早柄、間宮、鳴戸、伊七〇

【寺島水道】

常磐、羽黒、足柄

【馬公】

球磨、龍田、沙風、島風、夕風、灘風、芙蓉、朝顔、萱、蓮、蓬、梅、呂六六、呂六五、呂六七

【鎮海】

董、菱、葦、藤、蒿、萩、薄

【上海】

宇治、浦風

【南京】

比良

【九江】

栗

【漢口】

對馬、保津

【長沙】

鳥羽

【沙市】

勢多

【宜昌】

堅田、二見

【重慶】

熱海

【香港】

嵯峨

【ホノルル】

佐多

【作業地】

大泊

【航海中】

隱戸 (二日吳發—羅府へ)  
襟裳 (三日吳發—羅府へ)  
安宅 (二十三日漢口發—宜昌へ)  
青島 (二十三日吳發—橫須賀へ)  
淺間、八雲 (二十四日盤谷發—新嘉坡へ)  
山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、五十鈴、名取、阿武隈、多摩、龍驤、鳳翔、神威、初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、松風、朝風、春風、旗風、楡、柿、伊三、伊一、伊二、伊五、伊四 (二十四日有明灣發—佐世保へ)

能登呂 (二十四日高雄發—馬公へ)  
初雁、千鳥、真鶴 (二十四日佐世保發—港外へ)  
野島 (二十四日神戶發—吳へ)  
勝力 (二十五日吳發—豊後水道へ)  
那智 (二十五日小濱發)  
洲崎 (二十五日徳山發—大湊へ)

(部内限ナシ)

2009

# 海軍公報

第二千四百二十三號

昭和十年三月二十六日(火)

海軍大臣官房

## ○雜款

○軍艦比叡行動豫定

名地 着

發 記事

横須賀 三月二十九日

大連 三月二十九日

横濱 四月六日

横須賀 四月七日

神戶 二十日

栗島(假泊) 二十三日

宮島 二十四日

大連 二十七日

横須賀 五月四日

三月二十五日

四月二日

四月七日

十九日

二十三日

二十四日

二十四日

三十日

御召艦

御召艦

御召艦

御召艦

御召艦

御召艦

御召艦

御召艦

○郵便物發送先

軍艦比叡宛

四月一日迄ニ到達見込ノモノハ

同 六日迄ニ同

同 十八日迄ニ同

同 二十二日迄ニ同

大連

横濱

横須賀

神戶

驅逐艦浦風宛

自今

横須賀

同 三十日迄ニ同

大連 横須賀

○移轉

軍令部副官 海軍大佐 代谷清志宅

荏原區小山町四四九番地(電話荏原二七〇四番)

○出發

駐在 海軍軍醫少佐 馬淵 涉

三月三十一日 横濱發 香取丸

歐米 海軍技師 小田 茂雄

三月三十一日 横濱發 大洋丸

各國 海軍技師 小田 茂雄

三月三十一日 横濱發 大洋丸

海軍公報 第二千四百二十三號

昭和十年三月二十六日

二六九

2010



○艦船所在

▲印ハハハホ  
指定ヲ要セズ

○三月二十六日午前十時調

【横須賀】日進、陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、

▷那珂、春日

矢風、澤風

伊二三、伊二四、伊五三、伊六三、

伊五七

富士、尻矢、大和、膠州、知床

(鈴谷)

【長浦】潮、朧、曙、秋風、羽風、太刀風、帆風、

天霧、夕霧、朝霧

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

呂五九

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

浦賀 嚴島

館山 椿

【函館】沼風、神風、野風、波風

【吳】長門、矢矧、緯崎、日向、加古、淀、

大鯨、大井、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、

菊、葵、浦波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、

呂六三、呂六四、伊五二、伊五一、

伊二二、伊二一、伊五七、伊五六、

伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、朝日、室戸、野島

(最上)、(呂三三)

【大阪】白雪

【神戸】(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【相生】初雪

【江田内】平戸

【伊豫灘】白鷹

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

【佐伯】勝力

【舞鶴】吾妻、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

(夕暮)

【油谷灣】鳥海、摩耶、高雄、愛宕、青葉、衣笠、

古鷹、神通、由良、長鯨、赤城、

響、雷、電、漣、狹霧、曉、綾波、敷波、

東雲、磯波、沖風

伊五四、伊五五、伊六〇、伊五九、

伊六四、伊六一、伊六二

鶴見

2011

【佐世保】

加賀、迅鯨、霧島、出雲、妙高、北上、八重山、那智、山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、五十鈴、名取、阿武隈、多摩、龍驤、鳳翔、神威

梨、竹、樵、桃、柳、檜、楡、夕月、菊月、望月、三日月、陸月、如月、彌生、卯月、初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風

松風、朝風、春風、旗風、楡、柿、峯風、呂三、呂四、呂五、呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

伊初雁、千鳥、真鶴、敷島、早柄、間宮、鳴戸、伊七〇

【長崎】

羽黒、足柄、(三隈)

【馬公】

球磨、龍田、能登呂、沙風、島風、夕風、灘風、芙蓉、朝顔、刈萱、蓮、蓼、蓬、桐、呂六六、呂六五、呂六七

【鎮海】

董、菱、葦、藤、蔦、萩、薄

【上海】

宇治、浦風、比良、栗、對馬、保津

【南京】

對馬、保津

【漢口】

對馬、保津

【沙市】

對馬、保津

【宜昌】

對馬、保津

【重慶】

對馬、保津

【香港】

對馬、保津

【作樂地】

對馬、保津

【航海中】

對馬、保津

【隱戶】

對馬、保津

【襟裳】

對馬、保津

【安宅】

對馬、保津

【青島】

對馬、保津

【淺間】

對馬、保津

【佐多】

對馬、保津

【磐手】

對馬、保津

【比叡】

對馬、保津

【有明】

對馬、保津

【洲崎】

對馬、保津

【常磐】

對馬、保津

【白雲】

對馬、保津

(部内限一頁)

2012

# 海軍公報

第二千四百二十四號

海軍大臣官房

昭和十年三月二十七日(水)

## ○令達

官房第一二二三二號

昭和十年三月二十七日

海軍大臣

在京親任官  
同(待)遇(殿)

滿洲國皇帝陛下引見式ニ關スル件通牒

滿洲國皇帝陛下來四月八日午前十時御引見アラセラル

ヘク候條同時刻赤坂離宮ニ參入相成度

服裝 通常禮裝

## ○通牒

官房第一二二三三號

昭和十年三月二十七日

海軍省副官

在京各廳長殿

滿洲國皇帝陛下御着京及御離京ノ際  
奉迎送竝ニ伺候ニ關スル件通牒

滿洲國皇帝陛下來四月六日午前十一時三十分東京驛御  
着同十五日午前九時三十分同驛御發被爲在候ニ付テハ  
奉迎送及伺候ニ關シ左記ノ通定ヌラレ候

記

一、東京驛御着發ノ際勤務ニ差支無キ在京高等官ハ御  
着發時刻四十分前迄ニ乗車口ヨリ參入係員指定ノ  
「ホーム」ニテ奉迎送ス

服裝 奉迎ノ際ハ正裝、奉送ノ際ハ通常禮裝トス  
二、四月七日午前八時ヨリ同十二時迄ノ間ニ於テ用務  
ニ差支ナキ在京將官ハ便宜赤坂離宮ニ伺候ス 但  
シ引見式ニ列スル諸官ヲ除ク  
服裝ハ通常禮裝トス

## ○辭令

正六位 小平 勇

海軍公報 第二千四百二十四號 昭和十年三月二十七日

二七三

2013

海軍艦政本部ニ於ケル造兵業務ヲ囑託ス  
但シ部内限奏任官待遇トス

從六位 河内 通

海軍艦政本部ニ於ケル造船造兵業務ヲ囑託ス

但シ部内限奏任官待遇トス(以上三三三海軍省)

海軍艦政本部勤務兼造船監督助手

海軍技手 牛島 義六

横須賀海軍工廠勤務ヲ命ス(三三三同)

○雜款

○軍艦鬼怒行動豫定

地名 着

舞鶴 四月八日

長箭洞 四月十日

迎日灣 四月十三日

舞鶴 四月十四日

發 四月七日

發 四月十日

○軍艦大井行動豫定

地名 着

吳田内 四月八日

小部灣 四月八日

發 四月八日

發 四月八日

神戶	九日	十二日
高松	十四日	十四日
安庄	十七日	十七日
龜川	十九日	十九日
徳山	二十一日	二十一日
江内	二十四日	二十四日
吳内	二十四日	二十四日
宮島	二十六日	二十六日
江内	二十七日	二十七日
吳内	二十七日	二十七日

○郵便物發送先

軍艦大井宛

四月七日迄ニ到達見込ノモノハ

神戶

同 十一日迄ニ同

同 十三日迄ニ同

同 十六日迄ニ同

同 十八日迄ニ同

同 二十日迄ニ同

其ノ後ハ

軍艦鬼怒宛 四月六日迄ニ到達見込ノモノハ 新舞鶴

同 十二日迄ニ 同  
其ノ後ハ 朝鮮慶尙北道浦項  
新舞鶴

○服役  
左記ノ者三月二十五日海軍武官服役令第八條ノ規定ニ  
依ル現役ニ服セシメラル  
記

海軍軍醫中尉	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍軍醫少尉
生沼金夫	西田福治	河村結	川久保義夫	丸山敏夫	小林勝郎	木村定見	清田三一	小田部崧		

海軍公報 第二千四百二十四號 昭和十年三月二十七日

○艦船所在

指定ノ要セズ

○三月二十七日午前十時調

【横須賀】

日進、陸奥、夕張、金剛、木曾、駒橋、春日

矢風、澤風、有明

伊二三、伊二四、伊五三、伊六三

富士、尻矢、大和、膠州、知床、青島

(鈴谷)

【長浦】

潮、隴、略

呂五四、呂五五、呂五六

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】

殿島

【館山】

椿

【清水】

那珂

秋風、羽風、太刀風、帆風、天霧、朝霧、夕霧

呂五七、呂五八、呂五九

【吳】

長門、矢矧、緯崎、日向、加古、淀、大鯨、大井、天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、菊、葵、浦波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二八、呂二七、呂六八

呂六三、呂六四、伊五二、伊五一、伊二二、伊二一、伊五七、伊五六、伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、朝日、室戸

(最上)(呂三三)

【大阪】

白雪

【神戸】

(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【相生】

初雪

【江田内】

平戸

【佐伯】

掃一五

【舞鶴】

吾妻、川内、鬼怒、若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

(夕暮)

【油谷灣】

鳥海、摩耶、高雄、愛宕、青葉、衣笠、古鷹、神通、由良、長鯨、赤城

響、雷、電、漣、狹霧、曉、綾波、敷波、東雲、磯波、沖風

伊五四、伊五五、伊六〇、伊五九、伊六四、伊六一、伊六二

鶴見

【佐世保】

加賀、迅鯨、霧島、出雲、妙高、北上、八重山、那智、常磐、山城、扶桑

▷榛名、伊勢、▷長良、五十鈴、名取、  
▷阿武隈、▷多摩、▷龍驤、風翔、神威、  
梨、竹、樺、桃、柳、櫻、楡、▷夕月、菊月、  
望月、三月月、▷陸月、如月、彌生、卯月、  
▷初霜、初春、子日、若葉、▷長月、水無月、  
皐月、文月、▷疾風、追風、朝風、夕風、  
▷松風、朝風、春風、旗風、▷楡、柿、峯風、  
▷呂三、▷呂四、▷呂五、▷呂二九、  
▷呂三〇、▷呂三一、▷呂三二、▷呂六〇、  
▷呂六一、▷呂六二、▷伊六五、▷伊六六、  
▷伊六七、▷伊三、伊一、伊二、▷伊五、  
伊四  
▷初雁、千鳥、真鶴  
▷敷島、早鞆、問宮、鳴戸  
(伊七〇)  
羽黒、足柄  
(三隈)  
【馬公】能登呂  
▷沙風、島風、夕風、灘風、▷芙蓉、朝顔、  
刈萱、▷蓮、蓼、蓬  
▷呂六六、▷呂六五、▷呂六七  
【鎮海】▷董、菱、葦  
【青島】▷藤、蒿、萩、薄  
【上海】宇治  
浦風

【南京】比良  
【九江】栗  
【漢口】對馬、保津  
【長沙】鳥羽  
【沙市】勢多  
【宜昌】▷安宅、墜田、二見  
【重慶】熱海  
【香港】嗟峨  
【作業地】大泊  
【航海中】  
隱戸 (二日吳發—羅府へ)  
襟裳 (三日吳發—羅府へ)  
淺間 (二十四日盤谷發—新嘉坡へ)  
佐多 (二十四日「ホノルル」發—佐世保へ)  
磐手 (二十五日佐世保發—青島へ)  
比叡 (二十五日橫須賀發—大連へ)  
洲崎 (二十五日徳山發—大湊へ)  
▷勝力、白鷹、▷掃一三、掃一四、掃一六 (二十六日佐伯發—作業地へ)  
▷球磨 (二十六日馬公發—臺州列島ヲ經テ大連へ)  
▷龍田 (二十六日馬公發—厦門へ)  
▷白雲、薄雲、濃雲 (二十六日吳發—大連へ)  
母 (二十六日馬公發—上海へ)  
▷沼風、神風、野風、波風 (二十七日函館發—大湊へ)  
野島 (二十七日吳發—佐世保へ)

(部内限一頁)

2017

# 海軍公報

第二千四百二十五號

昭和十年三月二十八日(木)

## 海軍大臣官房

### ○通牒

官房第一二五〇號

昭和十年三月二十八日

海軍省 副官

關係各官殿

滿洲國建國功勞章佩用ニ關スル件通牒

滿洲國皇帝陛下御來訪中 皇帝陛下ニ關係アル儀禮等ニ於テ記章ヲ佩ブベキ場合ハ滿洲國建國功勞章ヲ記章ノ第一位ニ佩用ノコトニ定メラレ候條御了知相成度

駐滿海第二號ノ三

昭和十年三月二十日

駐滿海軍部

關係各部御中

軍需品輸送ニ關スル件照會

内地ヨリ當方面ニ輸送ノ軍需品通關ニ關シ滿洲國政府財政部ト交渉ノ結果左記ノ通回答有之候條御了知相成

度

追テ左記第二號ニ依リ現品發送ノ五日前迄ニ宛先、品名、荷物個數及通關稅關ヲ當部ニ御通知(五日前迄ニ該通知書發送不能ノ場合ハ電報)相成度

記

- 一、日本海軍關係官應ヨリ直接駐滿海軍部(臨時海軍防備隊及海軍測量隊ヲ含ム)ニ送付スル軍用品ニシテ當該包裝表面ニ發送者タル日本海軍關係官應長官ノ發給ニ係ル内容證明書ノ添付(添付不能ノモノハ通關稅關ニ郵送)シアルモノニ對シテハ稅關ニ於テ無檢査ノ上可及的速ニ通關スルコト
- 二、前號ニ依ル無檢査通關ヲ要スル物品ヲ輸入セントスルトキハ駐滿海軍部ヨリ豫メ其ノ旨通關稅關ニ通知スルコト

### ○雜款

海軍公報 第二千四百二十五號

昭和十年三月二十八日

二七九



○特務艦野島行動豫定

地名	着	發
佐世保	四月十三日	四月十一日
吳川	四月十七日	四月十四日
旅順	四月二十日	四月十八日
吳世保	四月二十六日	四月二十二日
佐世保	四月二十九日	四月二十七日

○英國軍艦來航豫定

地名	着	發
横濱	四月十四日	四月十五日
松島	四月十六日	四月二十日
函館	四月十七日	四月二十七日
横濱	四月二十二日	五月一日
長崎	四月三十日	
サフオーク		
地名	着	發
長崎	四月十七日	四月二十日
別府	四月二十一日	四月二十三日
神戸	四月二十四日	五月三日

備考「セント」ニハ英國支那艦隊司令長官サ、フレデリック、ドライヤー大將座乘

○郵便物發送先

特務艦野島宛	發送先
四月十日迄	佐世保
四月十三日迄	吳川
四月二十一日迄	旅順
四月二十六日迄	吳世保
其ノ後ハ	佐世保

○着任、退廳

新任 海軍省 教育局長 海軍少將 豊田副武 本月三日着任  
 前任 海軍省 教育局長 海軍少將 男爵 岡田 實 本月三日退廳

○宿所變更

海軍大佐 寺岡謙平  
 南京城内新民門三十號  
 公文書ハ佐世保郵便局氣付南京海軍駐在武官室宛

○滞在地變更

待命海軍主計中尉江島清ハ横須賀ヨリ佐世保ニ滞在地  
 變更ノ儀本月二十八日認許セラレタリ

○事務所撤去

有明艦裝員事務所ヲ神戸海軍監督官事務所（神戸市兵庫區東出町一）内ニ設置中ノ處本月二十五日撤去セリ

○艦船所在

▲印ハハカフ  
指定ヲ要セズ

○三月二十八日午前十時調

【横須賀】日進▲陸奥、夕張、金剛▲木曾、駒橋、春日

矢風、澤風、浦風、有明

伊二三、伊二四、伊五三▲、伊六三▲

富士▲、尻矢、大和、膠州、知床、青島

(鈴谷)

【長浦】巨潮、臘、曙

呂五四、呂五五、呂五六

掃六、掃五、掃一、掃三、掃二、掃四

【浦賀】駿島▲

【館山】榕

【清水】那珂

秋風、羽風、太刀風、帆風、天霧、朝霧、夕霧

呂五七、呂五八、呂五九

【大湊】沼風、神風、野風、波風

【吳】長門、矢矧、緯崎、日向▲、加古、淀、大鯨、大井、天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、夕顔、菊、葵、浦波▲、吹雪▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二八、呂二七、呂六八、呂六三、呂六四、伊五二、伊五一、伊二二、伊二一、伊五七、伊五六、伊五八、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇

石廊、攝津、朝日、室戸

(最上)、(呂三三)

【大阪】白雪

【神戸】(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【相生】初雪

【江田内】平戸

【白杵】勝力、白鷹

【舞鶴】掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

吾妻▲、川内、鬼怒

若竹、吳竹、早苗

呂二六

友鶴

(夕暮)

【油谷灣】鳥海、摩耶、高雄、愛宕、青葉、衣笠、古鷹、神通、由良、長鯨、赤城

響、雷、電、漣、狹霧、曉、綾波、敷波、東雲、磯波、沖風

伊五四、伊五五、伊六〇、伊五九、伊六四、伊六一、伊六二

鶴見

【佐世保】

加賀、迅鯨、霧島、出雲、妙高、北北上、八重山、那智、常磐、口山城、扶桑、榛名、伊勢、長良、五十鈴、名取、阿武隈、多摩、龍驤、鳳翔、神威、梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、夕月、菊月、望月、三日月、陸月、如月、彌生、卯月、初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、松風、朝風、春風、旗風、楡、柿、呂三三、呂二四、呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、伊六五、伊六六、伊六七、伊三、伊一、伊二、伊五、伊四

【長崎】 羽黒、足柄  
(伊七〇)

【馬公】 芙蓉、朝顔、刈萱、蓮、蓼、蓬  
(三隈)

【鎮海】 菫、菱、菘  
呂六六、呂六五、呂六七

【青島】 磐手  
藤、葛、萩、蕪

【上海】 宇治

【南京】

比良

【九江】 栗

【漢口】 對馬、保津

【長沙】 鳥羽

【宜昌】 安宅、堅田、二見

【重慶】 熱海

【廈門】 龍田

【香港】 嵯峨

【作業地】 大泊

【航海中】

隱戸 (二日吳發—羅府)

襟裳 (三日吳發—羅府)

淺間、八雲 (二十四日盤谷發—新嘉坡)

佐多 (二十四日「ホルル」發—佐世保)

比叡 (二十五日橫須賀發—大連)

洲崎 (二十五日徳山發—大連)

球磨 (二十六日馬公發—臺州列島ヲ經テ大連)

白雲、薄雲、叢雲 (二十六日吳發—大連)

梅 (二十六日馬公發—上海)

能登呂 (二十七日馬公發—作業地)

勢多 (二十七日沙市發—漢口)

瀨風 (二十七日馬公發—「ブラタス」島)

島風、夕風 (二十七日馬公發—馬尼)

峯風 (二十七日佐世保發—油谷灣)

野島 (二十七日吳發—佐世保)

(部内限三頁)